

横濱丸善爲換店規約

第一條

當社ノ名號ハ横濱丸善爲換店ト稱シ當分横濱辨天通貳丁目廿八番地丸善内外介商店ノ一室ニ於テ營業スヘシ

第二條

當社ノ資本金ハ五萬圓ト定メ之ヲ千株ニ分割シ一株ノ高ヲ五拾圓トナスヘシ

第三條

右資本金ハ營業上ノ實況ニ因リ株主一同ノ協議ヲ以テ之ヲ増減スルコアルヘシ

第四條

當社ノ營業ハ爲換荷爲換割引ケ其他貸附金預リ金保護預リ及諸公債證書外國貨幣地金銀賣買等ヲ以テ業務トスヘシ

第五條

當社ノ株主ハ其責任ヲ有限責任ト定ムヘシ

第六條

當社營業年限ハ滿十ヶ年ト定メ滿期ニ至リ株主一同協議ノ上同意多數ニ因リテハ尙繼續スルコヲ得ヘシ

但シ期限内ト雖モ株主一同ノ見込ニテ協議ノ上解社スルコヲ得ヘシ

第七條

株主ハ其引受ケタル株式一箇ニ付株式券狀壹枚宛ヲ受領スルモノトス其雛形ハ左ノ如シ

責任有限横濱丸善爲換店株式券狀

殿儀

當社ノ規約ヲ確守シ明治 年 月 日ヨリ當

社株式ノ内五拾圓即チ一株ノ持主タルコト相違ナキ證

據トシテ此株式券狀ヲ交付致候也

此株式券狀ヲ賣買讓與セント欲セバ當社へ持參スヘ

シ當社ニ於テ至當ノ手續ヲ經テ此券狀裏面へ幹事支

配人記名調印ノ上之ヲ返戻スヘシ

横濱丸善爲換店幹事

明治十年 月 日 何 某印

同 支配人

何 某印

第八條

株主一同ノ投票ヲ以テ取締役五名ヲ撰擧スベシ

第九條

取締役一同ノ投票ヲ以テ其中ヨリ幹事一名ヲ撰定シ幹事取締役ハ支配人ヲ撰定シ其以下役員ハ幹事支配人ノ指揮進退スル所トスベシ

第十條

取締役ハ當社株式三十株以上ヲ所有スル人ニアラサレハ其任タルヲ得ス

第十一條

幹事ハ當社ノ總体ニ注意シ一切ノ事務ヲ總括シ通常ノ事件ハ之ヲ裁決スルノ權アリトス然レハ臨時重大ノ件ハ株主一同ノ協議ヲ經ルニアラサレハ施行スルヲ得ス

第十二條

支配人ハ營業上ノ萬機ニ注意シ定例ノ事務ヲ處辨シ政府又ハ社外ニ關スル事ヲ取扱フモノトス

第十三條

毎年一月十五日七月十五日ノ兩度ニ株主一同ノ定式總會ヲ開キ半期中營業ノ實況ヲ報告シ利益金ノ配當ヲナスヘシ

第十四條

毎年兩度^{六月}十二月總勘定ヲナシ利益金ノ内ヨリ諸經費ヲ引去リタルモノヲ純益ト名ケ之ヲ左ノ如ク分配スヘシ

純益百分ノ十

積立金

此積金ヲ以テ諸公債証書等確實ナル物品ニ換エ其殖益ヲ謀リ

本社保續ノ準備ニ充ツヘシ

純益百分ノ五

別段積金

此積金ヲ以テ臨時損害ノ準備ニ充ツヘシ

純益百分ノ十

役員賞與配當

純益百分ノ七十五

總株金高ニ配當

但シ株金配當ノ割合年一割五分以上ニ當ルハ其超過高ヲ三分シ一分ヲ積立金ニ一分ヲ役員賞與配當ニ一分ヲ株金配當ニ

増加スヘシ

第十五條

本社非常ノ豫備トシテ別ニ豫備株金ヲ備フベシ

第十六條

豫備株金ハ開業ノ始メニ本社株金高四分ノ一ヲ備ヘ之ニ屬スル年ノ配當金ト非常積金トヲ此豫備株金ノ所屬トシテ之ニ加ヘ普通株金高ノ半額ニ至ルマテハ本社資金ニ併セ使用スヘシ

第十七條

豫備株金高普通株金高半額ニ至ルノ後ハ其株金ニ屬スル配當金并ニ非常積金ハ之ヲ豫備株金高ニ割當配分スベシ

第十八條

明治十四年五月

若シ營業ノ盛衰ニヨリ本社配當年壹割以内ニ減スルキハ其年ノ豫備株金ニ屬スル配當金ヲ減シ或ハ全ク廢シテ之ヲ普通株金ニ加フベシ

第十九條

本社ノ滿期ニ至リ結算ノ上万一損毛アルキハ此豫備株金ノ有ル限リハ之ヲ以テ其損耗ヲ消却スベシ

第二十條

本社ノ滿期ニ至リ結算ノ上剩餘利益アルキハ普通株金并ニ豫備株金ノ總金高ニ割當分配スベシ

第二十一條

豫備株金ノ株式券狀ニハ營業年限中本社普通株金ニ對スル豫備金トシテ差入レタル旨趣ト此豫備株金ニ限リ本社規約ニ記スル所ノ損益負擔ヲ有スルモノナレハ賣買抵當ヲ禁スルノ旨趣ヲ詳記シテ之ヲ株主ニ渡シ置クベシ

第二十二條

當社ノ株主タル人ハ何時ニテモ本社ニ來リ諸帳簿ヲ檢閲スルコト隨意タルヘシ

第二十三條

此規約ハ取締役一同ノ協議ニ因リ株主一同ノ認可ヲ得テ之ヲ更正シ又ハ増減スルコトアルヘシ

〔注〕 横濱丸善爲換店規約 半紙判 本文四丁 明治十四年五月刊

横濱丸善爲換店關係資料としては、「株入金手續書」一通、

「第壹回實際報告書」(明治十五年六月版 四六判 十四頁)がある。